

新幹線対策課

1 九州新幹線西九州ルート of 整備促進

【目 的】

我が国本土の最西端に位置する長崎県を活性化し、県勢の発展を図るためには、主要都市との時間距離の短縮を図ることが最重要課題です。新幹線の実現を核として高速交通ネットワークを確立し、国土の均衡ある発展と九州地方の一体的浮揚を図るとともに西九州地域の活力ある地域づくりを目指します。

【概 要】

根 拠 法 令 全国新幹線鉄道整備法

名 称 九州新幹線西九州ルート

区 間 博多～長崎間 約 143 km
・博多～新鳥栖間 約 26 km：鹿児島ルート共用（フル規格）
・新鳥栖～武雄温泉間 約 51 km：整備方式検討中
・武雄温泉～長崎間 約 66 km：新幹線鉄道（フル規格）

整備方式 平成 24 年 6 月の武雄温泉～長崎間の工事実施計画(その 1)認可時点では、フリーゲージトレイン（FGT）を導入し、新鳥栖～武雄温泉間は在来線を活用することとされていましたが、FGTの開発の遅れから、令和 4 年度に対面乗換方式により開業することとなりました。

その後、FGTの西九州ルートへの導入は断念されたため、新鳥栖～武雄温泉間の整備のあり方については、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム「九州新幹線（西九州ルート）検討委員会」における検討を経て、令和元年 8 月に「フル規格による整備が適当」との基本方針が示され、現在、関係者による協議が実施されています。

長崎県としては、国土交通省と情報共有を行いながら、議論の進展に努め、西九地域の発展に寄与するフル規格による整備の早期実現を目指します。

〔フル規格の整備効果（国土交通省試算）〕

- ・所要時間（博多～長崎の最速） 約 51 分（対面乗換 約 1 時間 20 分）
(現行 1 時間 50 分)
- ・投資効果（B/C） 3.1
- ・収支改善効果 約 86 億円/年

県 内 の 駅 長崎、諫早、新大村

建 設 費 約 6,197 億円（武雄温泉～長崎間）

平成 24 年 6 月	武雄温泉～長崎間	工事実施計画（その 1）認可
平成 29 年 5 月	〃	工事実施計画（その 2）認可
平成 31 年 4 月	〃	工事実施計画の変更認可

開業時期等 令和4年秋（武雄温泉駅での対面乗換方式）

【今後の取組】

関係自治体等と連携し、西九州ルート of 全線フル規格による整備など、以下の項目について、国等に要望していきます。

- (1) フル規格による整備にあたり、地方負担や並行在来線等、想定される課題については、フリーゲージトレイン導入断念の経緯や地元の意向も十分に踏まえ、解決を図ること
- (2) 整備財源については、北陸新幹線（敦賀～新大阪）と一体的に議論して確保を図ること
- (3) 新鳥栖～武雄温泉間の早期着工ができるよう、早急に環境影響評価に着手すること
- (4) 整備方式に係る関係者間の協議を進展させ、整備効果が最も高く、西九州地域の発展に資するフル規格による整備の早期実現を図ること。

また、西九州ルートへの直通運行も視野に入れたJR佐世保線の輸送改善に向けた支援を行うこと

2 佐世保線等の輸送改善

【目 的】

平成 4 年 11 月の「九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）等の整備に関する基本的考え方」に基づき、新幹線の整備と併せて佐世保線及び大村線の輸送改善策を検討し、その整備充実を図ります。

【概 要】

九州新幹線西九州ルートは、国土の均衡ある発展、九州地域の効率的交通体系の形成、長崎県の発展のために必要不可欠であることを認識し、関係者間で鋭意その実現可能な整備方策について検討を重ねてきた結果、平成 4 年 11 月に佐世保寄りのルート案を変更し、現在のルートを新しい地元案として決定しました。

しかし、地方拠点都市としての佐世保市及びその周辺地域にはかなりの人口・産業の集積があり、今後の地域開発の可能性が高いことから、佐世保市に至る鉄道サービスの改善を図る必要があるため、長崎県、佐世保市及びＪＲ九州で構成する「佐世保線等整備検討委員会」を平成 5 年 9 月に発足し、継続的に佐世保線等の輸送改善策の検討を行ってきました。

その結果、平成 31 年 3 月、西九州ルート（長崎～武雄温泉間）の開業時期を原則として、ＪＲ佐世保線の高速化を図るため、県による高速化工事（佐世保～有田間）、新幹線事業による在来線改良（高橋～肥前山口間）及び振子型車両の導入を一体的に実施し、「佐世保～博多間」の時間短縮（約 8 分）を図る事業について、長崎県・佐世保市・ＪＲ九州の三者で合意に至りました。同年 8 月には、県とＪＲ九州との間で工事に係る協定を締結し、現在工事が行われています。

なお、大村線の輸送改善については、沿線自治体の意向を踏まえ、ＪＲ九州に対して輸送力の強化や利便性の向上について要望を行っていきます。

ＪＲ佐世保線高速化工事の概要

事業期間：令和元年度～4 年度

事業費：約 14.41 億円（予定）

工事内容：曲線改良、ロングレール化、ＰＣマクラギ化、路盤改良 等（佐世保～有田間）

令和 4 年秋の西九州ルート（長崎～武雄温泉間）の西九州新幹線としての開業時に佐世保～博多間の時間短縮を図る。

3 新幹線開業効果拡大プロジェクト

【目 的】

令和4年秋の西九州新幹線（長崎～武雄温泉）の開業に向けて、その効果を最大限に高め、県内各地へ波及・拡大し、持続的に発揮させていくため、平成31年3月に策定した「新幹線開業に向けたアクションプラン」を官民一体となって推進します。

【概 要】〔R3年度予算額：107,885千円〕

アクションプランに基づき、県民の気運醸成、誘客促進、県内各地への周遊促進、来訪者の満足度向上、産業の振興の5つの方向性に沿って、県民への積極的な情報発信や二次交通の充実・強化、観光列車の導入等による在来線や地域鉄道沿線の活性化など、幅広い分野にわたる項目に取り組むこととしています。

取組を進めるにあたり、進捗管理や内容の具体化、詳細な役割分担の決定等のため、交通事業者、経済界、関係団体、行政等、関係の方々からなる「長崎県新幹線開業効果拡大推進本部」や取組項目に応じた「気運醸成PT」、「交通PT」、「誘客・プロモーションPT」に加え、若手人材の活用のため新たに立ち上げる経済団体青年部を中心とした実行委員会等による推進体制を構築し、官民一体となってアクションプランを推進してまいります。

〔主な取組例〕

- ・開業カウントダウンイベントや現場見学会、レールウォークの開催等による県民の気運醸成
- ・地域の魅力づくりや既存観光資源の磨き上げ、関西・中国圏等における広報プロモーション、さらに交通事業者等と連携したプロモーションの実施による誘客促進
- ・本格運行への移行を視野に入れた広域的な二次交通の実証運行や新幹線と航路をセットにした「レール&クルーズ」商品等の造成促進による離島を含めた県内各地への周遊促進
- ・新幹線で本県を訪れた方々に滞在期間中楽しく過ごしてもらい、リピーターとなっていただくための心のこもったおもてなしや「ながさきの食」を楽しむ機会の充実などによる満足度向上
- ・開業に向けた県内事業者の取組に対する支援や開業を機に高まる本県の認知度を活かした特産品の販売促進などによる産業の振興